



作
ま
み
お

最上エコポリス通信

2017年10月号

— mogami ecopolis tsushin —

山形県最上総合支庁

最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会が設立されました



最上地域 8 市町村と商工会議所、経済団体、観光団体などで構成される最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会設立総会が 9 月 20 日（水）に新庄市の大地会館で行われました。今年度は国土交通省、JR 東日本への要望活動、住民に対しての啓発広報活動、関係団体との連携を行うこととしています。フル規格新幹線によって、海外からの旅行客も含めた交流人口の拡大、所用時間の短縮、安全、安定輸送の実現が可能となり、地域産業の活性化につながっていきます。来賓として出席した吉村知

事は、地域の機運を醸成することが大事、将来のために一緒に取り組みたいと祝辞を述べました。

また、設立総会の後にはセミナーも合わせて開催され、櫛引素夫青森大学教授から新幹線が整備された後の将来ビジョン、地域への経済波及効果についてご講演をいただきました。

総務課連携支援室 29-1238



県立新庄北高校 地域課題理解講座開催

~~新庄最上の次代のリーダー育成~~

最上地域の進学校である県立新庄北高等学校 1 年生（157 人）を対象とした地域課題理解講座が 9 月 6 日（水）に開催されました。

地域について知り、考え、発信することで、少子化を伴う人口減少が進行する中、郷土に愛着を持ち、地域の未来を切り開いていく次代の地域リーダーを育成することを目的としており、今年で 4 回目の開催となりました。

最上総合支庁と最上教育事務所の職員が講師となり、公務員、企業、観光、農業、建築等の 11 分野に分かれ講座を学びました。



今後、10 月に最上地域の企業等取材し「企業等が地域課題にどう対処しているのか。」を調べ、12 月に学習成果の発表会を行います。この講座をとおり、この中から多くの未来の地域リーダーが育ってくれることを願っています。

総務課 29-1211



第1回県立新庄病院改築整備基本計画 専門家会議が開催されました



9月7日(木)、新庄病院会議室において、第1回県立新庄病院改築整備基本計画専門家会議が開催されました。

会議では、事前に開催された検討チーム会議での議論内容を踏まえ、新病院の診療機能・診療科、病床規模・病床機能、他医療機関との連携などについて意見交換がなされました。次回の専門家会議では、基本計画の原案について話し合われることとなっており、その後パブリック・コメントを実施して、年度内には基本計画が策定される予定です。

保健企画課 29-1258

進路を考える学習会を開催しました!

9月1日(金)に、新庄小学校の6年生を対象として、医療職に関する学習会を開催しました。

講師には、山形県立新庄病院の薬剤師・看護師・理学療法士の方を招き、仕事内容ややりがいなどの講話及び仕事に関わる体験学習を行いました。児童からは、「とても責任のある仕事だと思いました。」「患者さんの笑顔を取り戻すことが大切だと思いました」「自分の夢に向かって努力したいと思いました。」などの感想が寄せられました。

保健企画課 29-1258



女性活躍推進先進企業の視察研修を開催しました

9月12日(火)、最上地域の企業の人事担当者等を対象に、企業成長や人材確保の経営戦略として「女性活躍」を活かしている県内先進企業2社を視察するバスツアーを開催し、12名が参加しました。

はじめに、山形市でコールセンター業務を担う株式会社KDDIエボルバ山形センターを視察し、本人の希望する働き方が実現できる多様な職種や、キャリアアップできる制度などの説明を受けるとともに、金山杉のテーブルを使用した社員食堂で昼食をいただきました。



続いて、寒河江市で切削工具等を製造している株式会社マイスターを視察し、女性技能職を増やし育成する工夫、新入社員定着や社内コミュニケーションを促進する取り組み等を伺いました。

参加者からは、「会社を支えるのは人材だということを実感した」「今後の会社のあり方考えるうえで大変参考になった」といった感想が寄せられました。

域産業経済課 29-1309

知事のいきいき企業訪問《協和木材(株)》



9月20日(水)、吉村知事が、新庄市の新庄中核工業団地に立地し、今年4月から本格操業を開始した協和木材(株)新庄工場を視察しました。同工場は、年間原木消費量12万㎡、製品出荷量3万6千㎡の本県初の大型集成材工場であり、「やまがた森林ノミクス」推進の中核施設として位置付けられています。知事は、県産材を積んだトラックが活発に原木を搬入する様子、そして製材から乾燥、集成材生産の一連の流れを視察し、わが国最新鋭の機械設備による自動化された生産ラインや、発生する樹皮等を燃料とするボイラー等、無駄がなくスピード感と活気あふれる生産現場の様子を感じ取っていただきました。また知事からは、同工場が管内全市町村から多くの雇用を生んでいることや、地域の林業、木材産業の活性化に貢献していることに対して感謝の言葉が述べられました。 森林整備課 29-1349



全国女性消防操法大会 戸沢村女性消防隊が準優勝!!

9月30日(土)、秋田市で「第23回全国女性消防操法大会」が開催され、戸沢村女性消防隊が山形県代表として出場しました。

大会に先立ち9月7日(木)に戸沢村中央公民館で開催された壮行式では、石山総合支庁長が出席し激励を行いました。

女性消防隊員は仕事や家庭を持ちながら、休日や夜間の厳しい練習で操法技術の向上に努め、大会では練習の成果をいかに発揮し、見事準優勝に輝きました。この成績は、平成15年の第16回大会の飯豊町女性消防隊に並び過去最高の



成績となります。

消防団員が全国的に年々減少している中、女性消防隊員は地域の安全安心の支えとして、また、女性の視点での災害対応等、その活躍が今後大いに期待されます。

防災安全室 29-1209



農業経営法人化入門研修を開催しました

農業経営力の向上や地域農業の承継のため、農業経営の「法人化」などを学ぶ最上地域農業経営法人化入門研修会が、9月11日(月)に最上総合支庁講堂において開催され、最上地域の農家や市町村、JAの関係者ら50名以上が参加しました。講師の三谷美重子税理士からは、法人化のメリットと企業会計入門についてご講演いただき、また、農事組合法人ファーム吉田(河北町)の佐藤勝良氏からは、法人設立の経緯、法人化による利点や担い手の雇用状況などの事例発表をいただきました。

意見交換会では、専門家と実践者から、法人化のノウハウの助言や、地域農業の事業承継のあり方の示唆を得られ、法人化を目指す方々にとって有意義な研修となりました。

農業振興課 29-1319



県立新庄神室産業高校生徒による 最上小国川流水型ダム工事現場見学会



9月14日(木)に県立新庄神室産業高校環境デザイン科土木コースの生徒を対象に、最上町富澤地内の最上小国川流水型ダム工事現場にて、山形県建設業協会最上支部及び(一社)最上建設クラブ主催の見学会が開催されました。東北初、全国でも5例目となる流水型ダムの特徴である常用洪水吐き(いわゆる「穴」)の内側の鋼製表面被覆材の設置状況と、河床部から上方に堤体を築き上げるコンクリート打設状況を見学していただきました。なかなか目にすることができないこの機会に、生徒の皆さんからダム建設の現場を見てもらうことで、土木工事に対する理解が深まり、今後の進路選択に活かされることを願っています。

建設総務課 29-1391

第79回最上夜学の開催について

9月1日(金)に、最上地域の産学官連携のきっかけづくりの場を提供する「最上夜学」が最上総合支庁講堂で行われました。

山形大学大学院理工学研究科 准教授 横山道央氏をお招きして、「IoT センサーシステムサービスとビッグデータ解析による快眠快活支援」というテーマで、体調把握支援・健康管理システムの構築についてなどの最新の話題を提供いただきました。

質疑も活発に行われ、その後の交流会でも先生を囲み、相談・情報交換が行われました。

地域産業経済課 29-1307

適期刈取・農作業事故防止キャラバン

出発式を開催

稲刈作業が本格化する時期を迎え、9月6日(水)、最上総合支庁で「適期刈取・農作業事故防止キャラバン」の出発式を行いました。最上地区農業機械士会の沓澤衛会長が、「全国の消費者の皆さんに今年もおいしい最上産米をお届けするため、適期刈取と農作業事故防止の広報活動に尽力します」と決意表明しました。

その後、農業技術普及課の広報車を先頭に管内の巡回広報に出発しました。



農業技術普及課 29-1330

飛鳥Ⅱ寄港 肘折温泉足湯のお出迎え

9月8日(金)、豪華クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」が酒田港に寄港しました。飛鳥Ⅱの寄港は、4月1日に続き今年度2回目、客船の寄港は、8月2日のコスタネオ ロマンチカ以来となります。

着岸した酒田北港古湊ふ頭では、酒田市民の皆さんなどによる歓迎イベントが盛大に行われたほか、岸壁では、物産展が開催され、最上地域からも4つの店が出店し、最上地域の「食」や物産などをPRしたほか、今回初めての取組みとして、肘折温泉旅館組合による出張足湯も行われ、たくさんのお客さんに開湯1200年の歴史を誇る肘折温泉のあたたまり湯、美肌の湯を楽しんでいただくことができました。また、停泊中に行われたオプションツアーでは、最上川舟下りに約90名の皆さんが参加されるなど、最上地域の食、温泉、自然といった様々な魅力をお伝えすることができました。

観光振興室 29-1311



「新庄・もがみフラワーフェスティバル2017」が開催されました

9月9日(土)～10日(日)に、最上地域交流センター「ゆめりあ」にて「新庄・もがみフラワーフェスティバル 2017」が開催されました。9日の品評会では、最上地域で生産された151点の花の中から25点が入賞し、最優秀賞の県知事賞には、熊谷市夫氏(鮭川村)のりんどう(ハイネスブルー)が選ばれました。



10日には、華道家2名による講演会や農林大学校生による花いけショー、県内のバトラーによる花いけバトルなどが開催され、「花いけバトル」では、5分の制限時間で最上地域の花を使った即興アレンジで勝敗を競い、昨年を上回る多くの観客を魅了しました。

農業振興課 29-1317



第12回東日本チェーンソーアート競技大会が開催されました



メインカービング
参加者プレート
名:佐藤 雄三
山形県
名:「I LOVE 最上!」山の物
規格: F 2000

9月9日(土)と10日(日)の両日、山形県遊学の森を会場に東日本チェーンソーアート競技大会が開催されました。今年は天候にも恵まれ、地元山形県内のカーバーを始め、北は岩手県、南は静岡県から15名のカーバーが集合しました。初日の9日は「メインカービング」で朝の9時から夕方16時までの7時間、「最上の四季」をテーマにカーバーが腕を競いました。最終日の10日は「スピードカービング」で、定められた時間内に課題のものを彫り上げる競技が実施されました。会場内は、チェーンソーの豪快さとカーバーの繊細さに魅了されていました。

森林整備課 29-1348

(左:優勝作品「I LOVE 最上 山からの贈り物」)



東北のへそ三県交流まつりを開催しました

東北地方のちょうど中心(へそ)に位置する山形県最上地域と宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域が連携し広域的な観光誘客に取り組んでおり、その一環で9月12日(火)～13日(水)に、仙台市の勾当台公園で「東北のへそ三県交流まつり」を開催しました。最上地域からは18店舗が出店し、芋煮やそばをはじめ、郷土料理、野菜、農産加工品等の特産品の即売を行いました。また、ステージでは萩野鹿子踊の披露、新庄そばガールズのパフォーマンスなども行われたほか、市町村キャラクターも集合しました。

初日はあいにくの天気となりましたが、2日目は晴天にも恵まれ、宮城県内のテレビ各局で紹介されたこともあり、行列ができるほどの多くのお客さんで大変賑わい、仙台圏の皆さんに郷土色豊かな味覚・芸能を楽しんでいただくことができました。

東北のへそ名物発見スタンプラリー実施中

また、9月12日(火)から11月30日(木)まで最上地域と宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域のベーカリー・カフェ・麺などの対象施設を巡ってスタンプを集めて応募すると、各地域の特産品などが当たる「東北のへそ 名物発見 スタンプラリー」を開催中です。是非奮ってご参加ください。

観光振興室 29-1311



お知らせ

最上地域森の感謝祭2017

～つなげよう未来へ 緑のバトン～

【日時】平成29年10月7日(土) 9:30～12:00
 【場所】大蔵村大字南山肘折「肘折いでゆ館」付近
 【内容】式典、記念植樹、森づくり活動、木工クラフトなどの体験コーナー、高性能林業機械の実演など

森林整備課 29-1348

最上小国川クリーンフェスティバル

【日時】平成29年10月8日(日)
 【場所】舟形アユパーク
 【内容】最上小国川沿いを、川や環境に関するクイズを解きながらゴミを探すスポーツゴミ拾い大会を行います。参加者全員に参加賞の他、流域の味覚を振る舞います。お気軽にご参加ください!

総務課連携支援室 29-1240

～H29 みんないっしょ～ 親子でスポーツ

【日時】平成29年10月28日(土) 9:45～12:00
 【場所】新庄市体育館
 【内容】軽スポーツを親子で楽しく体験します。

※要事前申込み

10月12日(木)まで

子ども家庭支援課 29-1245



10月はきのこ食中毒予防月間です

昨年、山形県内で7件の毒きのこによる食中毒が発生しました。きのこシーズンに入りますが、分からないきのこは絶対に「採らない」「食べない」「人にあげない」を徹底してください。また、7件ともツキヨタケによる食中毒でした。ツキヨタケは石づき(きのこの柄)を縦に裂くと芯の部分に黒いシミが見られるのが特徴です。ただし、シミが分かりにくいものがあるので十分な注意をお願いします。

保健企画課 生活衛生室 29-1261

「東北のへそ名物発見スタンプラリー」を開催中

東北地方のへそ(最上地域と宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域)の「ベーカリー」・「カフェ」・「麺」・「各地域イチオシ」の対象施設を巡ってスタンプを集めて応募すると、各地域の特産品などがあたります。

東北のへその『隠れた「名物」』を探しにスタンプラリーに参加しませんか。皆さんのご参加、ご応募をお待ちしております。

- 1 実施期間：平成29年9月12日(火)～11月30日(木)まで
- 2 参加施設 28箇所(宮城県大崎、最上各地域9か所、秋田県雄勝地域10か所)
- 3 応募方法 専用の台紙に異なる参加施設のスタンプを3つ以上集めて、事務局(秋田県雄勝地域振興局)へ郵送。
- 4 賞品
 - ・ 東北のへそ観光満喫賞(3名様) 各地域の特産品 10,000円相当(3県の欄に押印)
 - ・ 東北のへそ名物発見賞(10名様) 同 5,000円相当(2県以上の欄に押印)
 - ・ 東北のへそラリーチャレンジ賞(30名様) 同 1,000円相当(1県以上の欄に押印)



巡って、感じて、楽しんで「最上庄内おすすめ観光スポットスタンプラリー」開催中

最上・庄内両地域おすすめの「道の駅」、「観光案内・お土産」、「産直」、「日帰り温泉」の全39スポットを対象に、スタンプラリーを実施中です。紅葉や新雪が綺麗な季節です。両地域でそれぞれ違う表情を見せる自然、風景も楽しみいただきながらスタンプラリーをお楽しみください。

- 1 実施期間：平成29年9月20日(水)～12月31日(日)まで
- 2 参加施設 39か所(最上地域19、庄内地域20)
- 3 応募方法 専用の台紙に最上、庄内各エリア2か所ずつ4個のスタンプを集めて事務局(庄内観光コンベンション協会)へ郵送。
- 4 賞品
 - ・ 1等 肘折温泉又はあつみ温泉たちばなやペア宿泊券(各1名様)
 - ・ 2等 最上・庄内両地域の特産品詰め合わせセット(各5名様)
 - ・ 3等 参加施設の特産品等(39名様)

地域産業経済課 観光振興室 29-1312



発行日：平成29年10月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口 電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。

